

「混声合唱へのステップ」

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力 主体的に学ぶ力 他者とかかわる力
自己形成力

題材について

○題材観

本題材は、学級で混声合唱に取り組む中で、合唱表現の豊かさや美しさを感じとらせ、合唱の楽しさを味わせることをねらいとしている。また、第2学年の音楽学習における合唱活動を基盤として、さらに確かな表現の技能を身に付けさせ、豊かな音楽表現ができるようにすることを意図している。本題材は、学習指導要領音楽編の内容「A 表現(1)ア 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと」「A 表現(1)ウ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと」に基づき設定する。この題材の目標を達成するために、教材曲『COSMOS』を用いる。この教材は、9月の文化発表会での合唱コンクールの自由曲として歌うことを予定しており、本題材の学習成果の発表の場として位置付けている。教科の学習の成果が学校行事の中で生かされるという点において、生徒の学習意欲も喚起されるものと考えられる。

○生徒観

「あなたの1番好きな歌い方は何ですか」の問いでは、独唱7.9%、斉唱42.1%、合唱50%で、“音が重なる楽しさは味わいたいが、他のパートにつられるので、みんなで同じメロディーを歌うのが楽である”という声が13.5%ある。「歌う時にどんなことを意識して歌っていますか」(複数回答可)の問いでは、声量・強弱などは大半の生徒が意識している。それに比べ、歌詞の内容や意味は32%、旋律の重なりは26%の生徒しか意識していない。この結果からも、表現することが苦手な生徒や表現することの楽しさを感じ取ることができない生徒に対して、パート練習や合唱において、自分の声に自信をもたせ、意欲を喚起するような言葉かけをかさねていくなどの手立てが必要であろうと考える。

○指導観

『COSMOS』は斉唱→合唱へと進み、響きが増していく中で、歌い合わせる楽しさ、他の声部とのかけあいの楽しさ、転調など、表現を工夫しながら合わせて歌うことにふさわしい教材である。指導にあたっては、合唱曲をみんなでつくりあげていく楽しさを味わわせていきたい。

題材の目標

- (1) 歌詞の内容や曲想を感じ取って表現を工夫することができる。
- (2) 声部の役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱することができる。

題材の評価規準

| ア 関心・意欲・態度 | イ 音楽表現の創意工夫 | ウ 音楽表現の技能 |
|--|---|--|
| ①歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 | ①声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。 ②歌詞の内容や曲想を感じ取り、自分なりのイメージをもって表現を工夫している。 | ①歌詞の内容や曲想を生かした曲にふさわしい音楽表現をするために、必要な技能を身につけている。 |

| | | | | | | | |
|---|-----------|---|---|---|--|------------------------|---|
| 2 | 整理・分析 | ・他のパートとの関わりを理解して歌う。 | | ○ | | イー① (行動観察) | |
| 3 | まとめ・創造・表現 | ・合唱コンクールの審査基準をもとに課題を見つけ、表現を工夫する。 【本時】 | ○ | ◎ | | アー① (発表) イー① (行動観察) | ◇自分たちの思いが聴き手に伝わるように、歌唱表現を工夫させることができる。【思-④】 ◇よりよい演奏発表を行うために、課題を見つけ、その解決に向けて取り組ませる。 【主-①】 |
| 4 | 表現 | ・授業の中で本番に向けたリハーサルをする。 | | ○ | | イー② (行動観察) | ◇他者と関わりながら、自らの考えを深めさせる。【他-②】 |
| 5 | 振り返り | ・題材全体の振り返りをする。 ・実技テスト (発表形式) | | ◎ | | ウー① (実技テスト) | ◆【思-④】 (実技テスト) |

本時の学習

(1) 本時の目標

上位入賞するために作戦を立てて練習することで、表現の工夫について考えることができる。

(2) 準備物

楽譜・歌詞を書いた模造紙・パート練習用CD・合唱コンクールDVD・デッキ・合唱練習カード

(3) 学習展開 (3限目/5)

まとめ・創造・表現

| | 学 習 活 動 | 指導上の留意点 | 評価規準 (評価方法) 【資質・能力の評価】 |
|---|---|--|---|
| 導入 (5分) | 1 前時の学習の振り返りをする。 | | |
| | 2 本時の学習内容を確認する。 | | |
| 【本時のめあて】 上位入賞するために作戦を立てて練習することで、表現の工夫について考えることができる。 | | | |
| 展開 (40分) | 3 他校の合唱コンクールのDVDを鑑賞する。 | 画像を鑑賞させることで、自分たちの演奏の参考にできることを考えさせる。 【東京都鶴川第二中学校 1年1組『COSMOS』】 | アー① ◇よりよい演奏発表を行うために、課題を見つけ、その解決に向けて取り組むことができる。【主-①】 (発表) |
| | 4 パートごとに分かれて作戦を考える。 (J)…じっくり考える) | 具体的にどうすればいいか考えさせる。 | イー① ◇自分たちの思いが聴き手に伝わるように、歌唱表現を工夫することができる。 【思-④】 (行動観察) |
| | 5 全体で意見の交流をする。 | | |
| | 6 クラスやパートごとの作戦に向け再び練習する。 (K)…くり返し挑戦する) | | |
| | 7 まとめの合唱をする。 (H)…はっきり表現する) | | |
| (まとめ 5分) | 8 本時の授業を振り返る。 | 合唱練習カードに書かせる。 | |
| | 9 次時の学習について知る。 | | |

